

全社で取り組んでいる環境活動

社会の持続可能な発展に向け、

「環境取組方針」に基づいた4つの行動指針を掲げて積極的に取り組んでいます。

第一生命の環境取組方針

基本的な考え方

第一生命は、「社会からの信頼の確保」という経営基本方針に基づき、社会の一員として地域の環境保全・地球環境保護および循環型社会の構築を企業の社会的な責任と捉え、一人ひとりが、日常のかつ継続的に以下の行動指針に沿って環境保全に取り組めます。

行動指針

1. 生命保険事業における環境配慮行動

事業活動において、環境保全に関する諸法規や第一生命が同意した憲章・協定・指針等を遵守し、常に環境への影響に配慮した行動を行うよう努めます。

3. 環境啓発活動の推進

行動指針の徹底を通じて役職員の環境問題に対する意識の向上を図るとともに、環境保全活動への助成・支援をはじめとした環境啓発活動に取り組み、広く社会に貢献します。

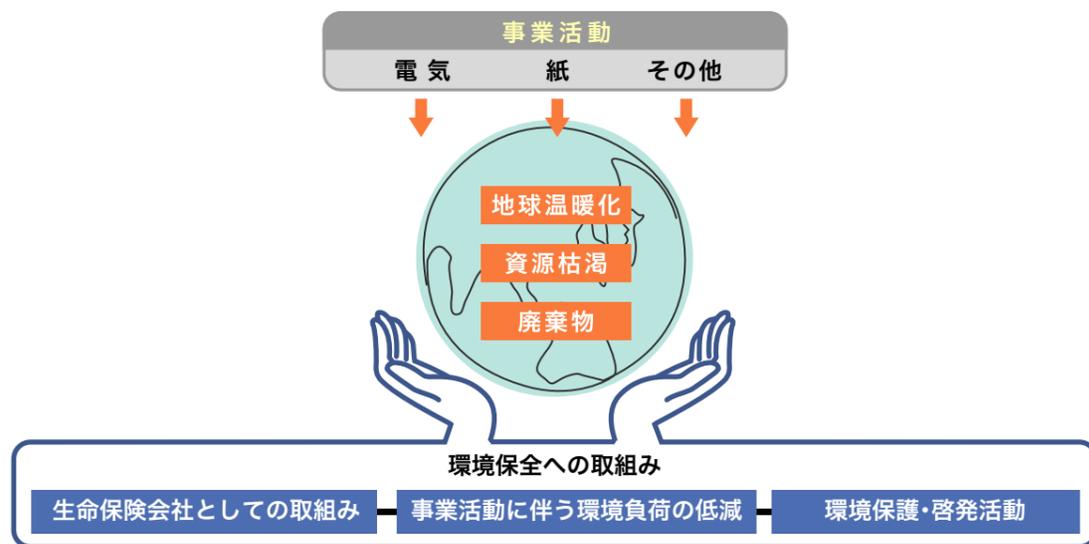
2. 事業活動に伴う環境負荷の低減

事業活動に伴う資源・エネルギーの消費や廃棄物等の排出について、省資源、省エネルギー、資源のリサイクル、およびグリーン購入を推進し、環境負荷の低減に努めます。

4. 持続的な環境改善の推進

目的・目標を設定し、取組方針や取組状況と合わせて取組結果の検証と積極的な開示に努め、継続的な環境改善に取り組めます。

事業活動が地球環境に与える影響を考え、地球環境の保全に向けて積極的に取り組んでいます。



生命保険会社としての取組み

事業活動に伴う環境負荷の低減はもとより、金融が環境に関する影響も大きいことから、金融機関ならではの取組みも重要であると考えています(14ページご参照)。

事業活動における取組み

環境負荷の主な要因は、電力消費や紙の使用など主にオフィス活動によるものです。第一生命では、省エネルギーやリサイクルの促進などを通して環境負荷の低減に努めています。

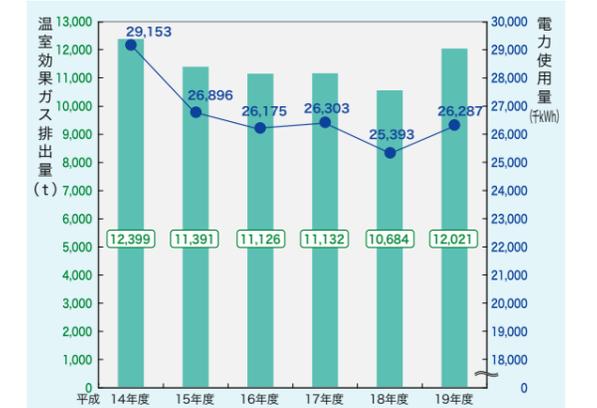
省エネルギーへの取組み

日比谷本社、大井事業所では、省エネ法や東京都環境確保条例等に対応した目標を定め、建物ごとにCO₂排出量の削減に取り組んでいます。今後は、全事業所における電気使用量等の実態を把握し、さらなる環境負荷低減に向けて取り組んでいく予定です。

東京都環境確保条例に基づく地球温暖化対策

東京都では、環境確保条例に基づき一定規模以上の事業所に対して地球温暖化対策計画書の提出を義務づけています。当社は本条例に基づき、日比谷本社について、平成17年から5ヶ年の計画書を策定のうえ、CO₂排出量削減に向けた取組みを着実に実施してきました。平成19年6月に提出した中間報告書に対して、このたび「AA」の評価を受けました。

【温室効果ガス排出量・電力消費量(日比谷本社・大井事業所)】



※温室効果ガス排出量は、東京都環境確保条例「地球温暖化対策計画書制度」に則って算出

省資源への取組み

紙使用量の削減

● 約款冊子のオーダーメイド化

平成20年5月より、ご契約期間中の更新時等に提供する約款冊子をお客さまのご契約内容に合わせてオーダーメイド化しています。これにより、1契約あたり平均200ページ、年間で約45トンの紙資源が削減される見込みです(53ページご参照)。

● 印刷物物流のジャスト・イン・タイム化

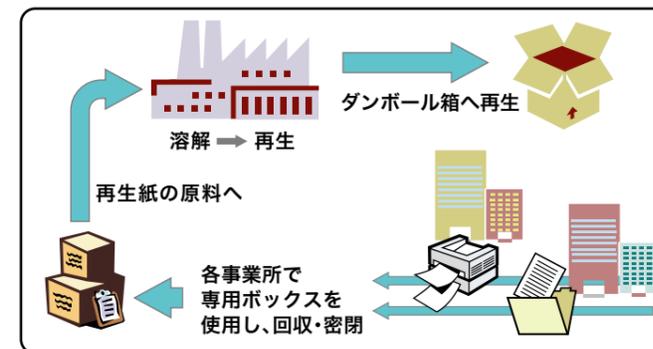
印刷物の過剰在庫の削減を図るため、平成18年8月より、パンフレットや事務帳票等の印刷物物流システムを抜本的に見直し、製造・物流・使用・廃棄を一元化した「印刷物物流のジャスト・イン・タイム化」を導入しました。平成19年度は、導入前の平成17年度比で402トンの紙資源が削減できました。

紙のリサイクル促進

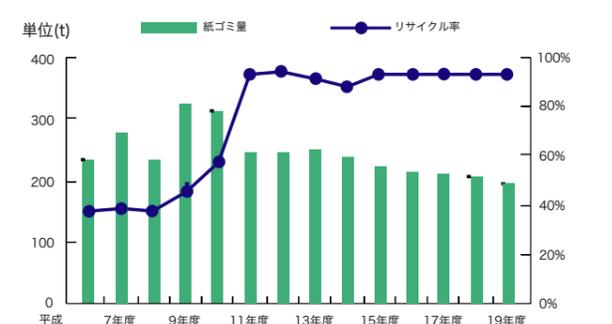
紙の廃棄にあたっては、情報漏洩が起きないように徹底した管理を行ったうえで、リサイクルを積極的に進めています。

● ロールボックス廃棄

支社・支部の廃棄書類を本社が選定した委託業者が回収し、密閉したまま運搬・溶解する廃棄方法です。溶解後は再生紙の原料として活用しています。



【紙ゴミ量とリサイクル率(日比谷本社)】



環境保護・啓発活動

緑のデザイン賞 この賞は、優秀な都市部の緑化プランを表彰し、その実現に対して資金助成を行うもので、平成2年に創設されました。これまでに全国115の地域で新たな緑地が誕生しており、緑化促進による都市部のヒートアイランド現象の緩和や、自然環境の保全にも貢献しています。さまざまな緑化プランを実現させることで未来を担うこどもたちに緑豊かな環境を残していきたいと考えています。



■第18回 緑のデザイン賞
国土交通大臣賞 受賞プラン



the Voice 第18回 緑のデザイン賞 国土交通大臣賞 受賞

青山表参道町会 会長 川島 信録 様

私たちが生活する東京の都心部においても、目を和ませ潤いを感じさせる緑の存在は、街にはなくてはならないものであると日々感じています。私たちの住む青山表参道地域は、日々沢山の人々が訪れる、国際色豊かな賑わいのある街です。今回、表参道入り口付近を緑あふれる、美しい憩いの場所として整備できればと、地元の自治体の協力を得ながら、緑化プランを作成しました。

職員への環境教育・啓発活動 職員一人ひとりが環境問題への意識を高め、自主的に取組むため、環境啓発セミナーを実施しています。また、社内広報を通じて各部門の環境取り組みの事例等を紹介し、情報共有化を図っています。

環境啓発セミナーのテーマ

平成19年：『不都合な真実』上映会＋地球温暖化の現状について講義

平成20年：環境ジャーナリスト枝廣淳子氏による講演「温暖化の時代に今やるべきこと」



■枝廣淳子氏によるセミナー



■「エコマインド向上通信」

環境保全活動 全国各地の職員が、地域に根ざしたクリーンアップ活動を自発的に行い、ボランティアとして環境保全に取り組んでいます。



■日比谷本社・京浜総合支社
都立東京港野鳥公園干潟清掃



■新潟支社
柳都クリーンアップ



■大井事業所
酒匂川河川敷クリーンアップ

the Voice

環境保全活動参加者



京浜総合支社 長井 宏道

今回、支社近隣の東京港干潟清掃ボランティアに初めて参加し、地層に埋もれている細々としたビニールゴミの多さに驚かされました。また、ゴミは干潟に生息している微生物の活動を妨げることになり、海の自浄作用そのものにも影響を与えていることを知りました。短い時間の清掃活動で、綺麗になった範囲は小さいものでしたが、とても良い経験となりました。